

2018年7月19～20日 四日市東日本大震災支援の会 第57回派遣 岡山県矢掛町 災害ボランティア 活動報告

2017年11月8日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

四日市市社会福祉協議会と連携し、西日本豪雨で多数の床上浸水被害があった岡山県矢掛町で災害ボランティア活動を行った。四日市市社協とは、毎年50万円の範囲で被災地支援を協働で実施する申し合わせをしている。今までも、熊本地震、北関東豪雨などで協働してきた。今回は、マイクロバスでの移動費用を社協が全額負担し、大学生は仮眠する入浴施設利用料の一部だけを負担して実施した。

<活動概要>

- 小学校校庭の側溝からの泥かき
- 個人宅の土砂撤去

<参加者>四日市大学学生8名、四日市看護医療大学2名のほか、社協経由で集まった方たち

<費用負担>

大学生1,000円、一般2,000円

★往復移動、19日夜に仮眠する入浴施設(稲荷山健康センター)使用料

★食事は各自負担

<スケジュール概要>

★7月19日(木)

19:30 四日市大学9号館集合

20:00 四日市大学出発

24:00 岡山県の入浴施設到着⇒入浴⇒仮眠

★7月20日(金)

08:00 ; 岡山県矢掛町災害ボラセン到着

9:00～16:00 ボランティア活動

21:00 頃大学帰着

